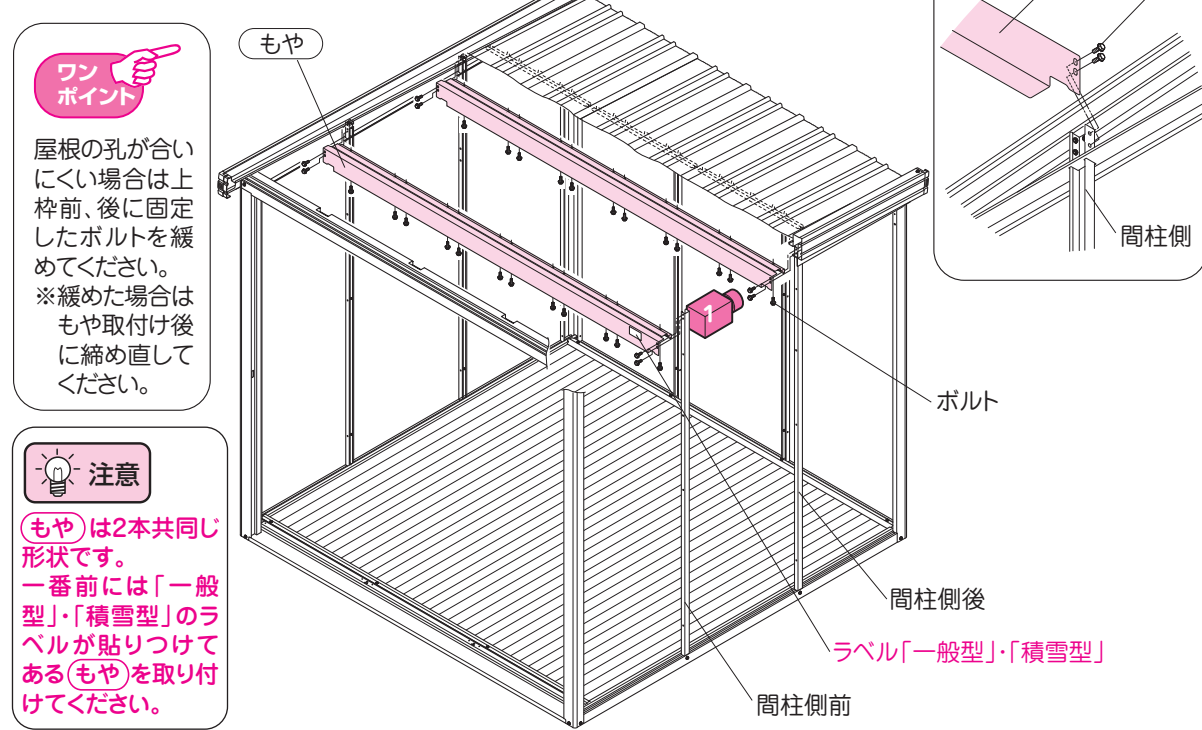


鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

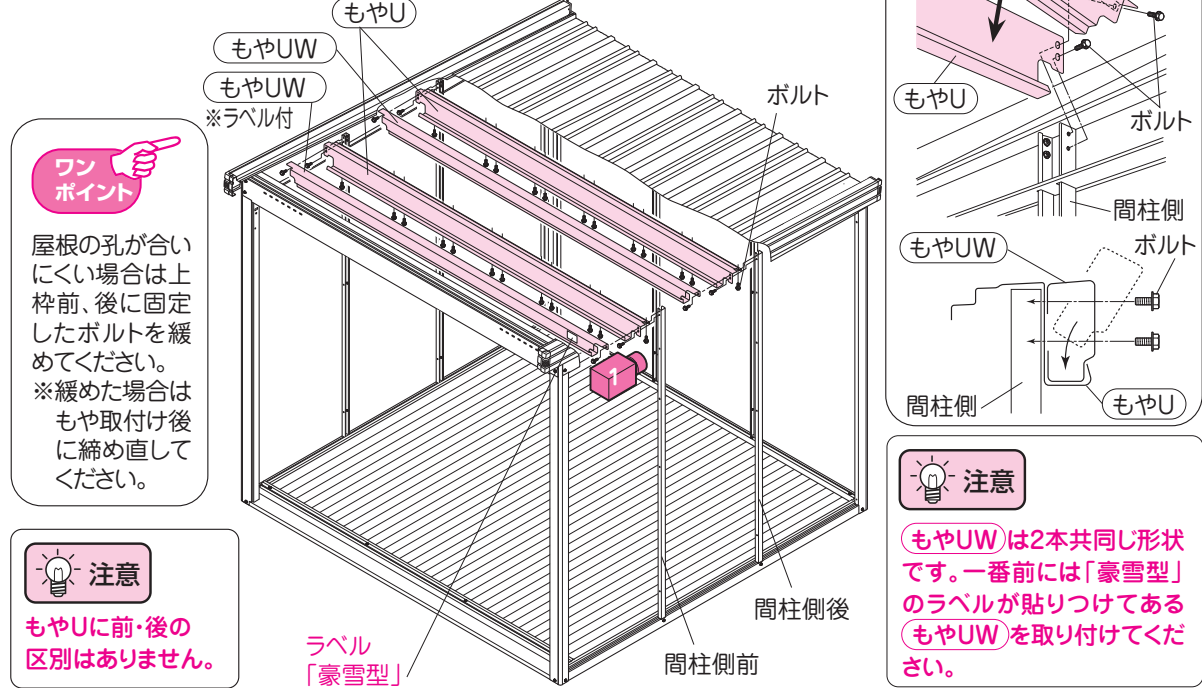
10-A もやの取付け ●一般型・積雪型の場合

- ① もや を正面から間柱側に載せてボルト止めします。
- ② もや と屋根をボルト止めします。



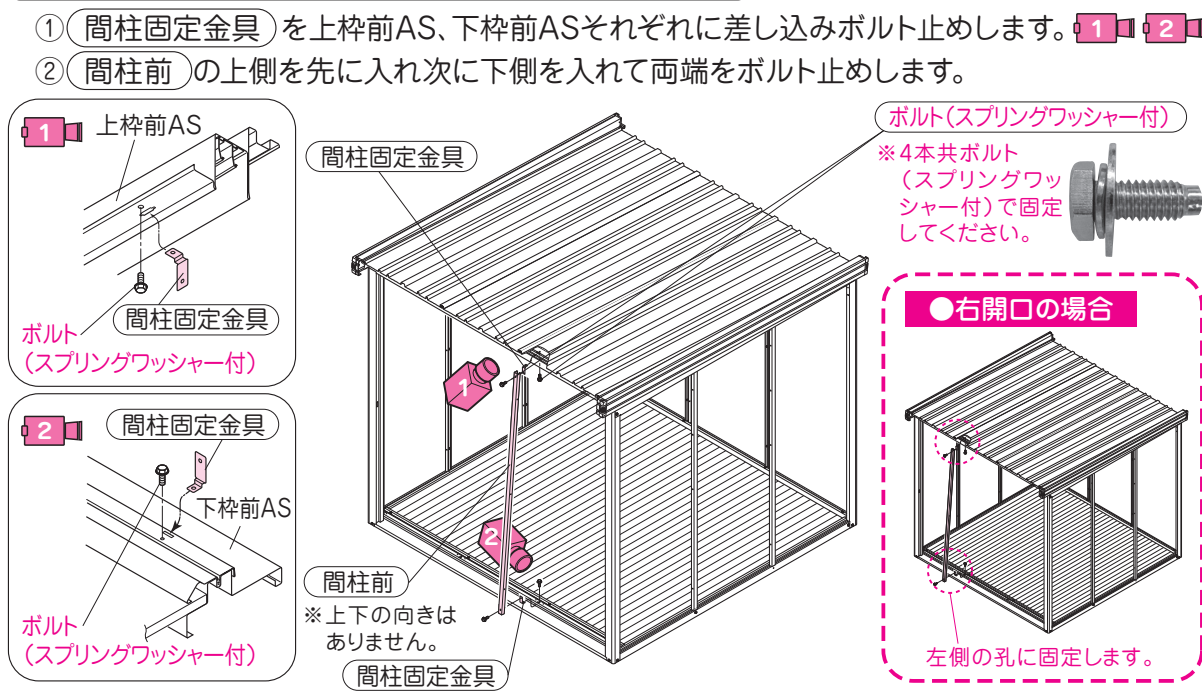
10-B もやの取付け ●豪雪型の場合

- ① もやU を正面から間柱側に載せて下側の穴をボルト止めします。
- ② 正面からもやUW をもやU に落としこみボルト止めします。
- ③ もやU と屋根をボルト止めします。



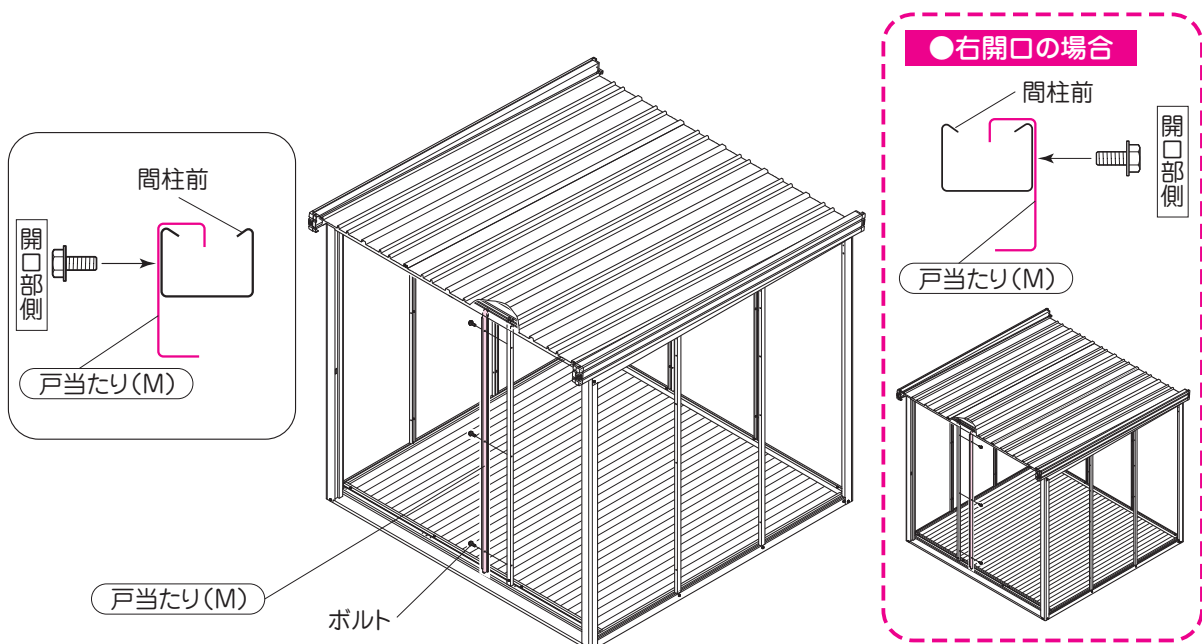
11 間柱前の取付け

- 工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっていますが、右側開口にも変更できます。それぞれの開口により、部品の取付け位置が異なりますので開口に応じて組立説明書(11・12・16・17・18・22)を読んでください。



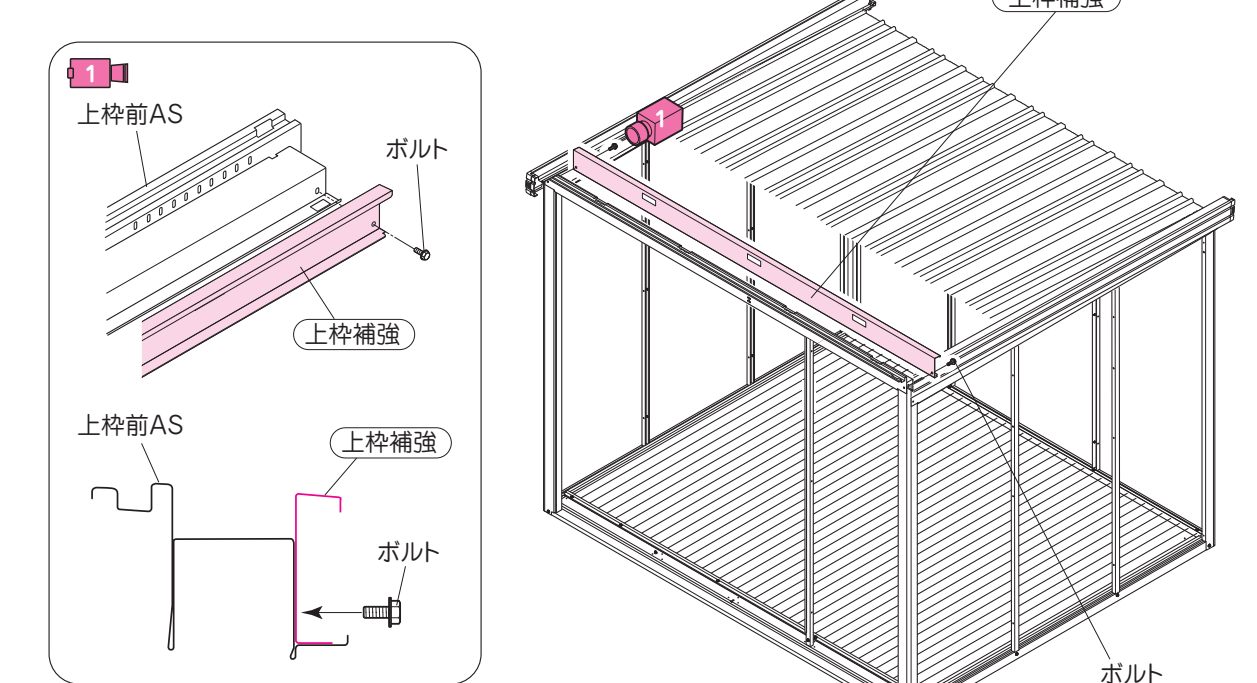
12 戸当たりの取付け

- ① 戸当たり(M) を間柱前に仮止めします。
- ※扉吊り込み後に扉に干渉しないように前後調整して固定してください。- 工程17参照



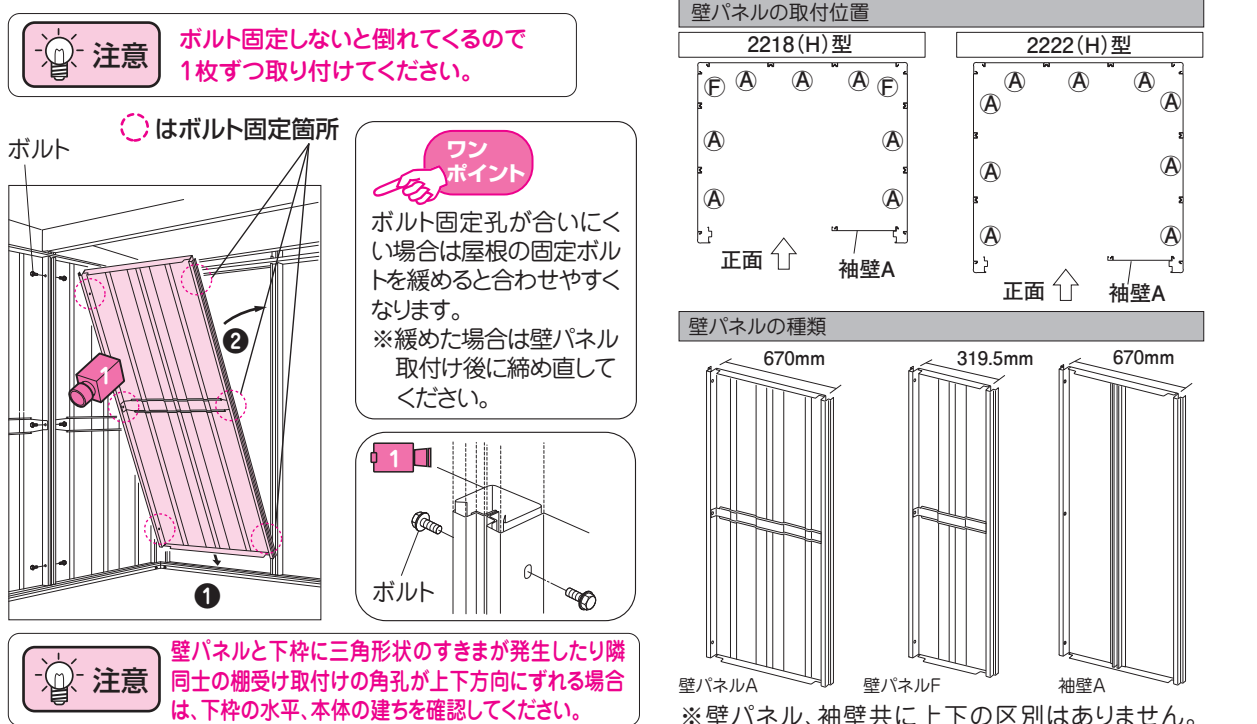
13 上枠補強の取付け (豪雪型のみ)

- ① 上枠前と柱を固定しているボルトを外します。
- ② 上枠補強 を上枠前ASにボルトで固定します。



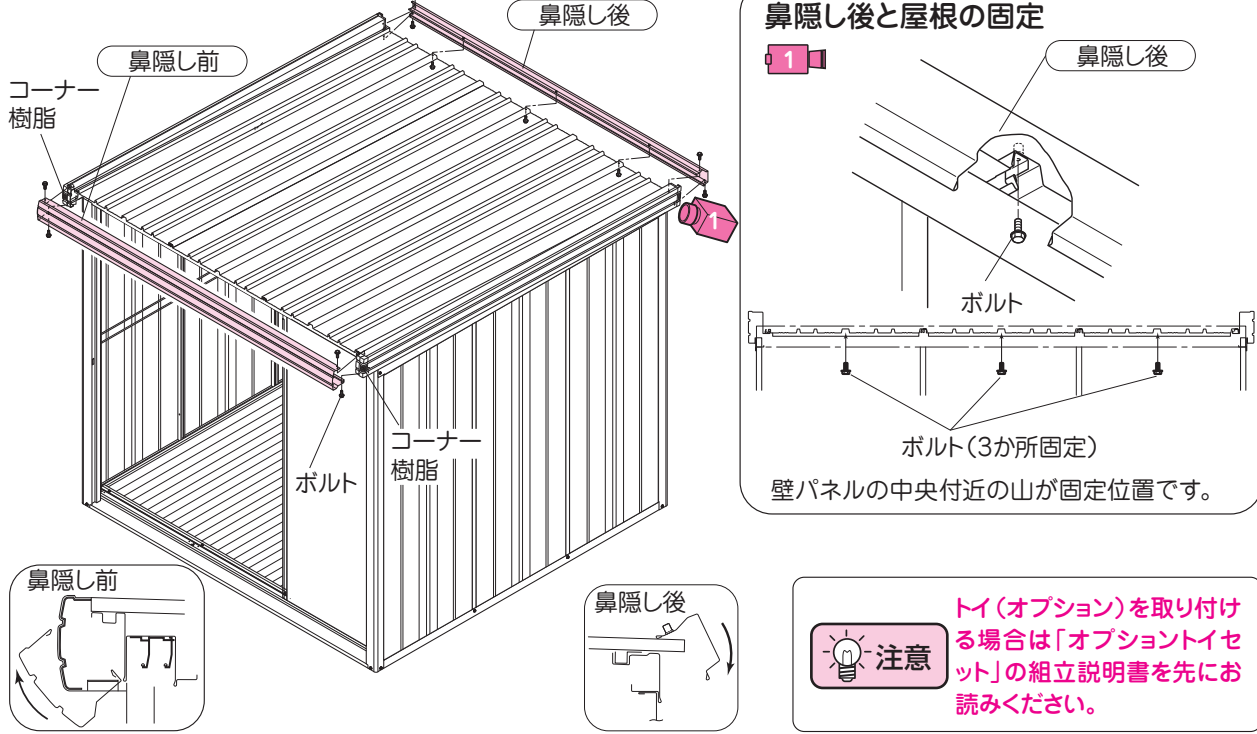
14 壁パネル・袖壁の取付け

- ① 室内から(壁パネル)・(袖壁パネル)をはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)
- ② 柱・間柱にボルト止めします。



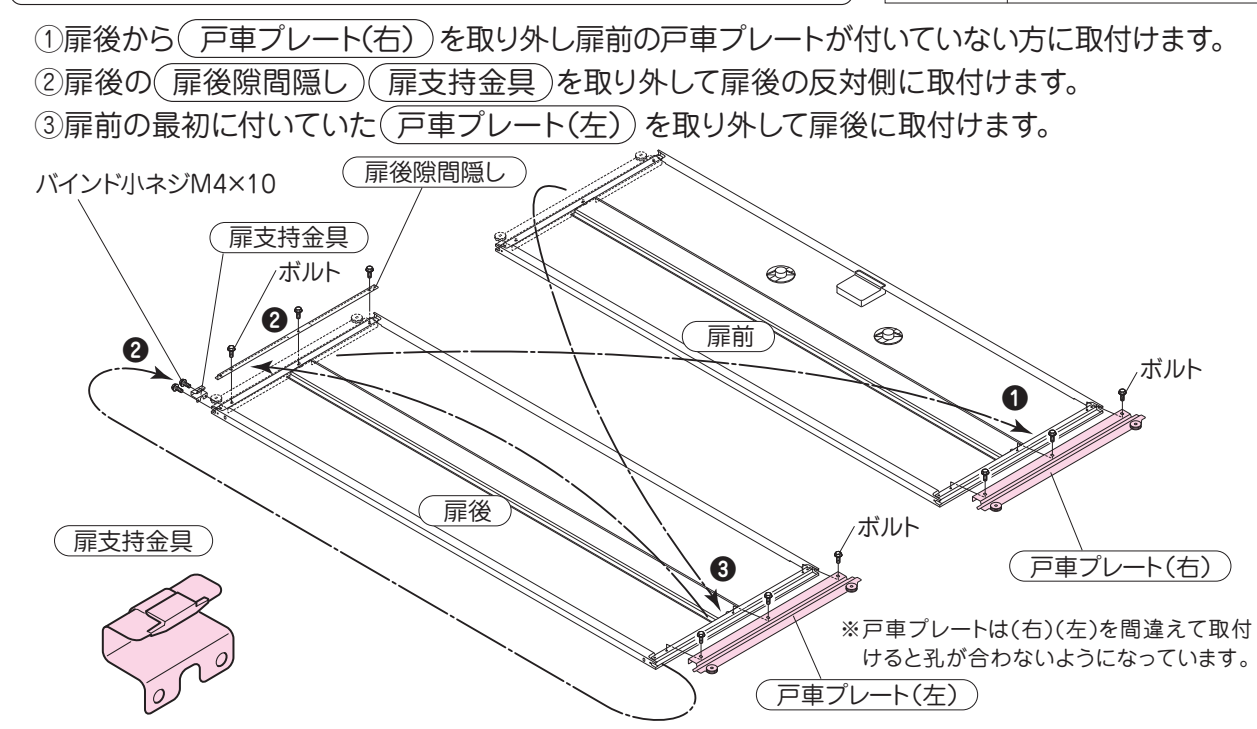
15 鼻隠しの取付け

- ① (鼻隠し前)・(鼻隠し後)を上枠左右のコーナー樹脂にかぶせるようにして取付けてボルト止めします。
- ② (鼻隠し後)と屋根をボルト止めします。



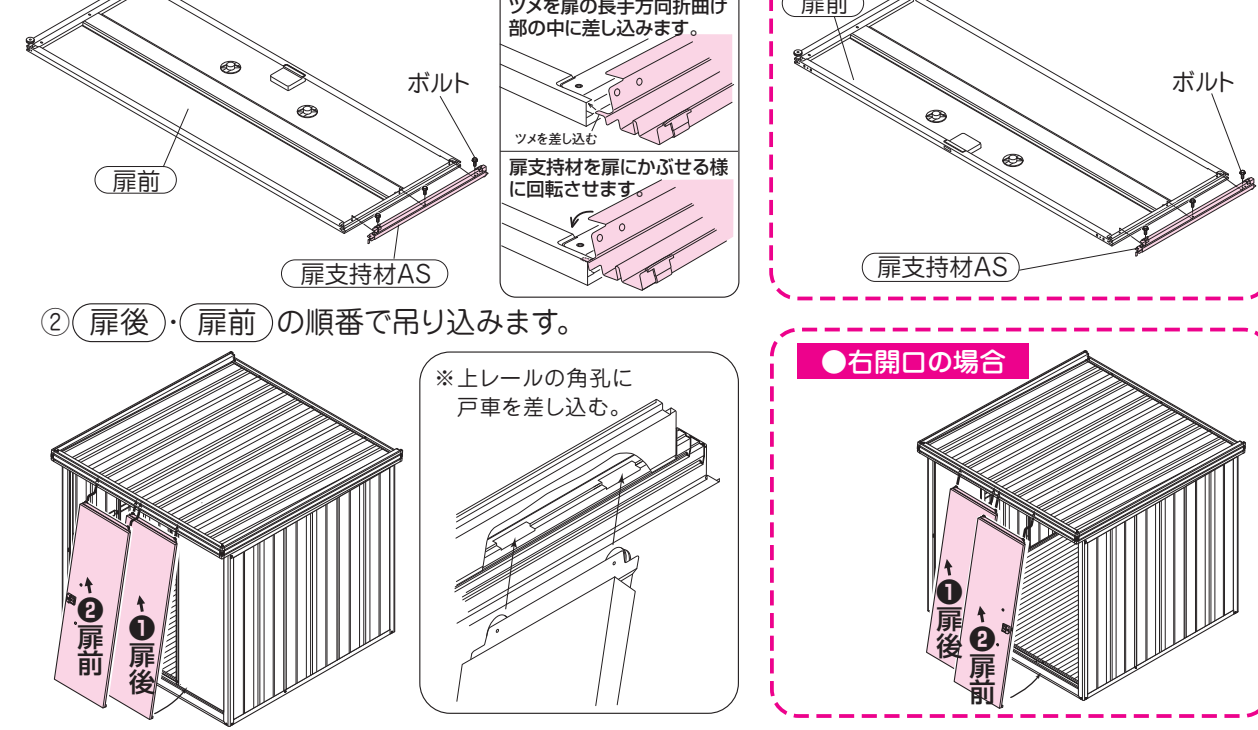
16 扉吊元変更 (右開口に変更する場合のみ)

- 右開口にする場合のみ吊元変更を行ってください。左開口の場合はこの工程は必要ありません。

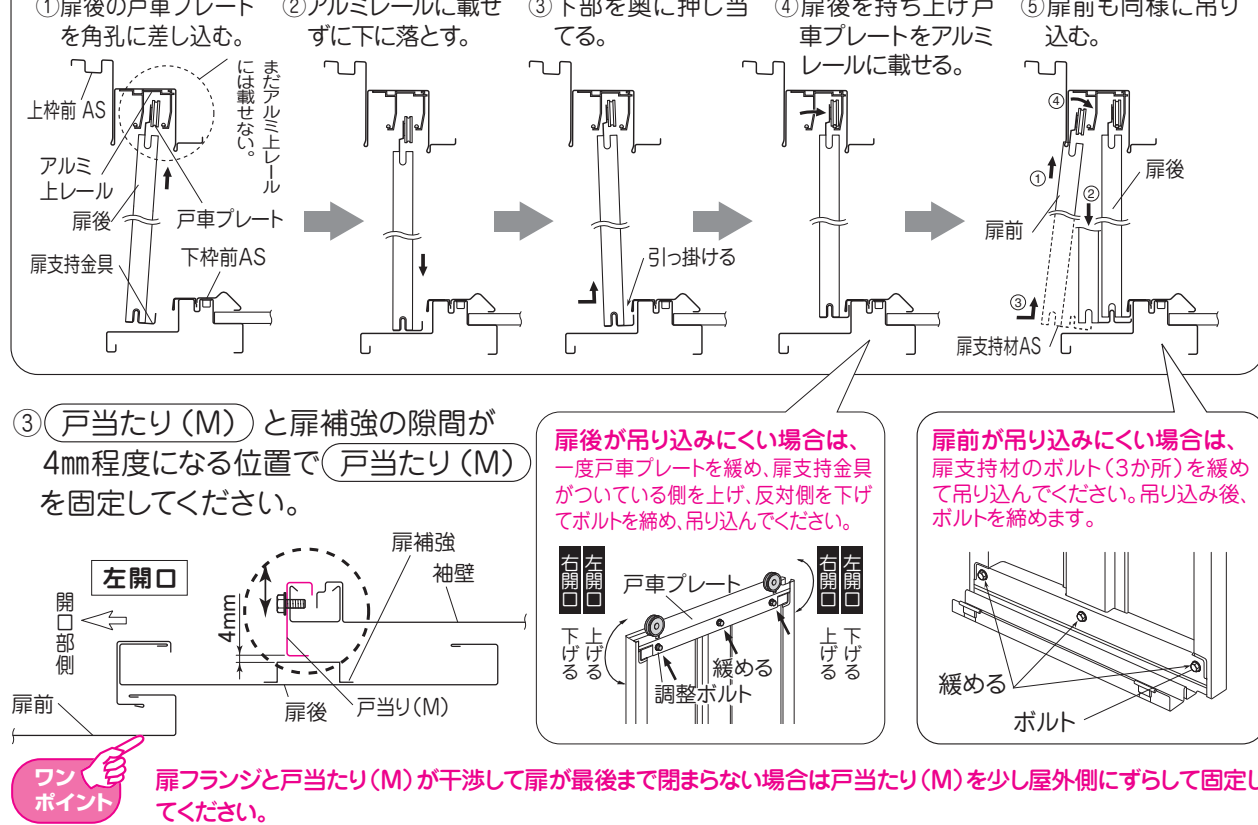


17 扉の吊り込み

- ① 扉支持材(AS) を「扉前」に取付けます。

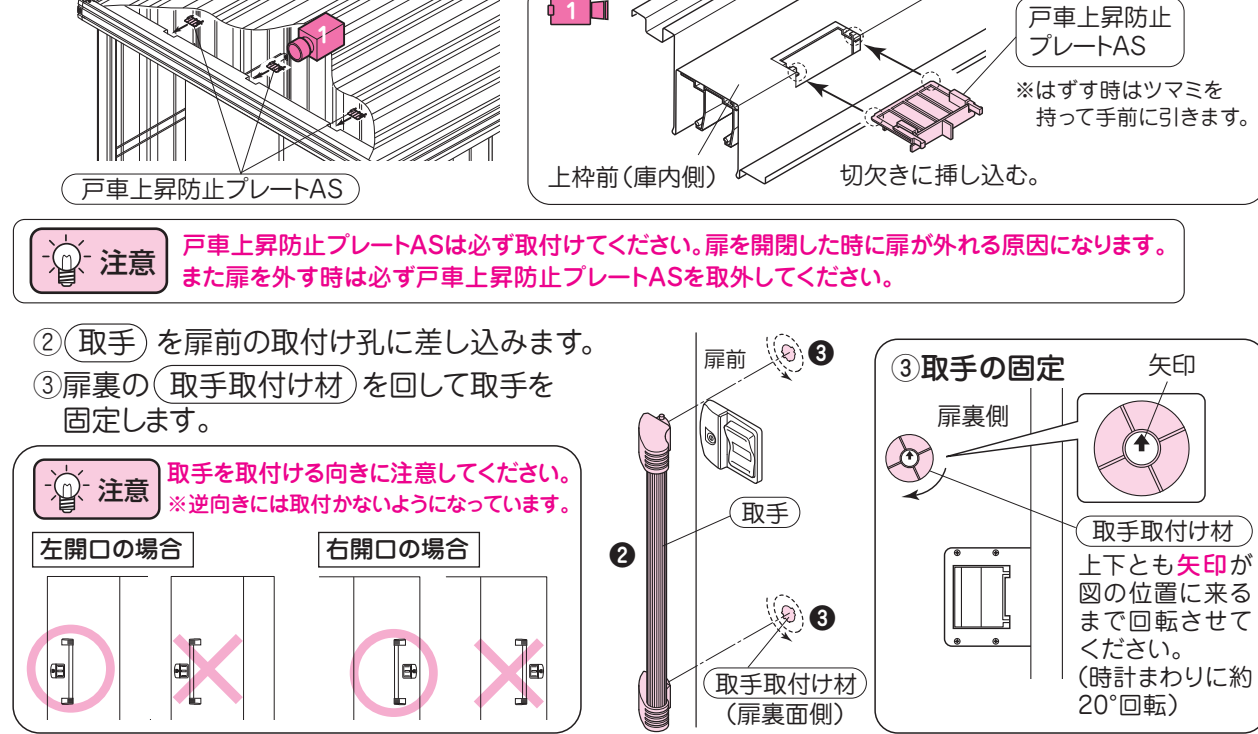


扉の吊り込み手順



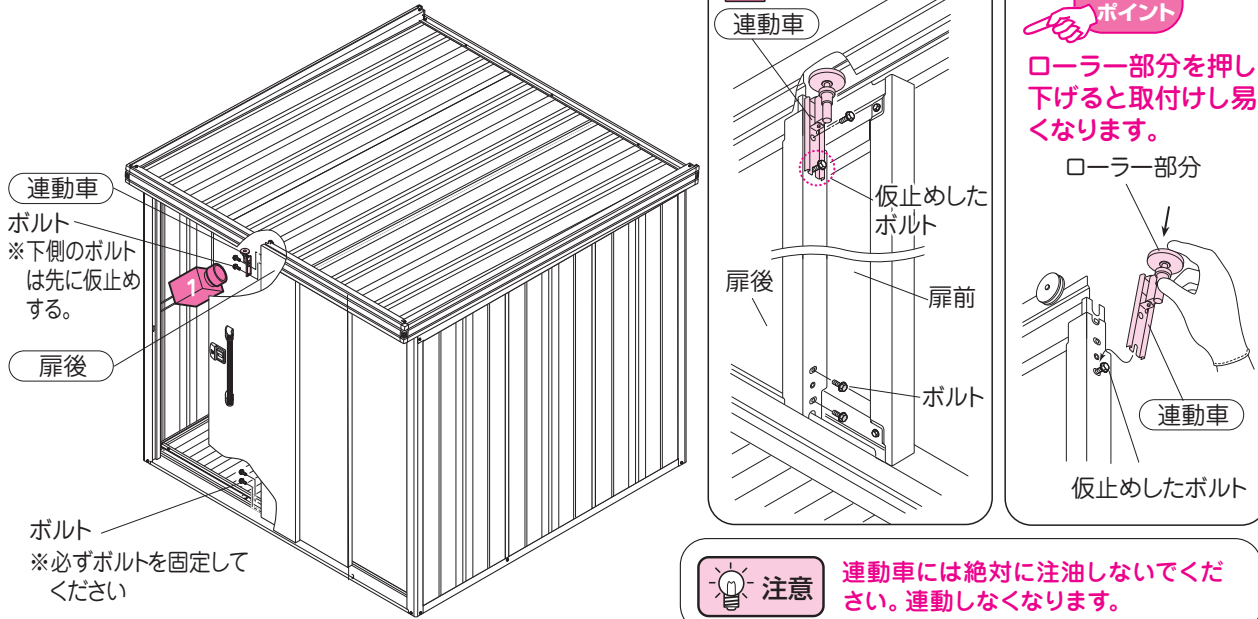
18 戸車上昇防止プレート・取っ手の取付け

- ① 戸車上昇防止プレートAS を上枠前ASに取付けます。(3か所)



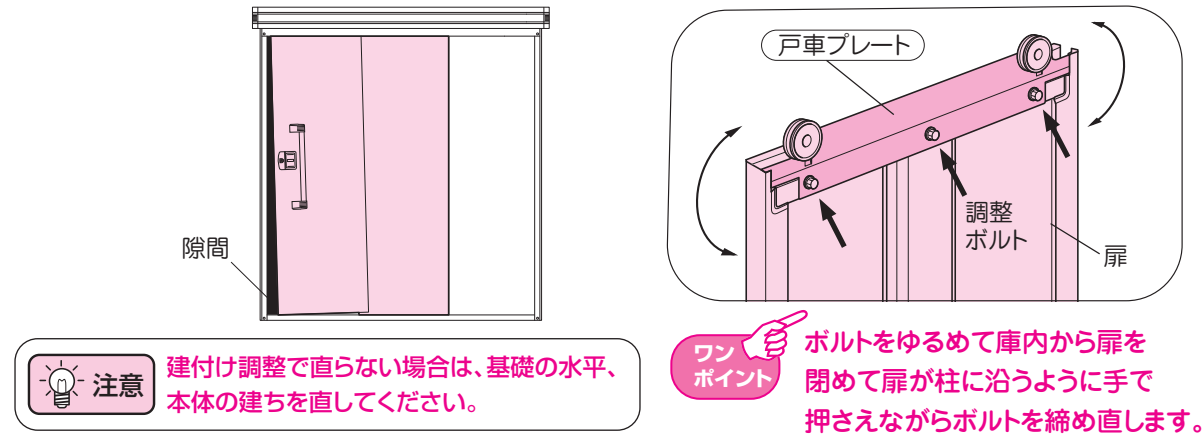
19 連動車の取付け

- ① 扉後の連動車取付け部下側の固定孔にボルトを仮止めします。(ネジ部を5mm程度残してください)
- ② 連動車 のローラー部分を押し下げながら下部切欠きを仮止めたボルトに引っ掛けます。
- ③ 連動車 をボルトで固定します。(仮止めたボルトも締め込んでください。)
- ④ 扉後下部のボルト孔を塞ぎます。



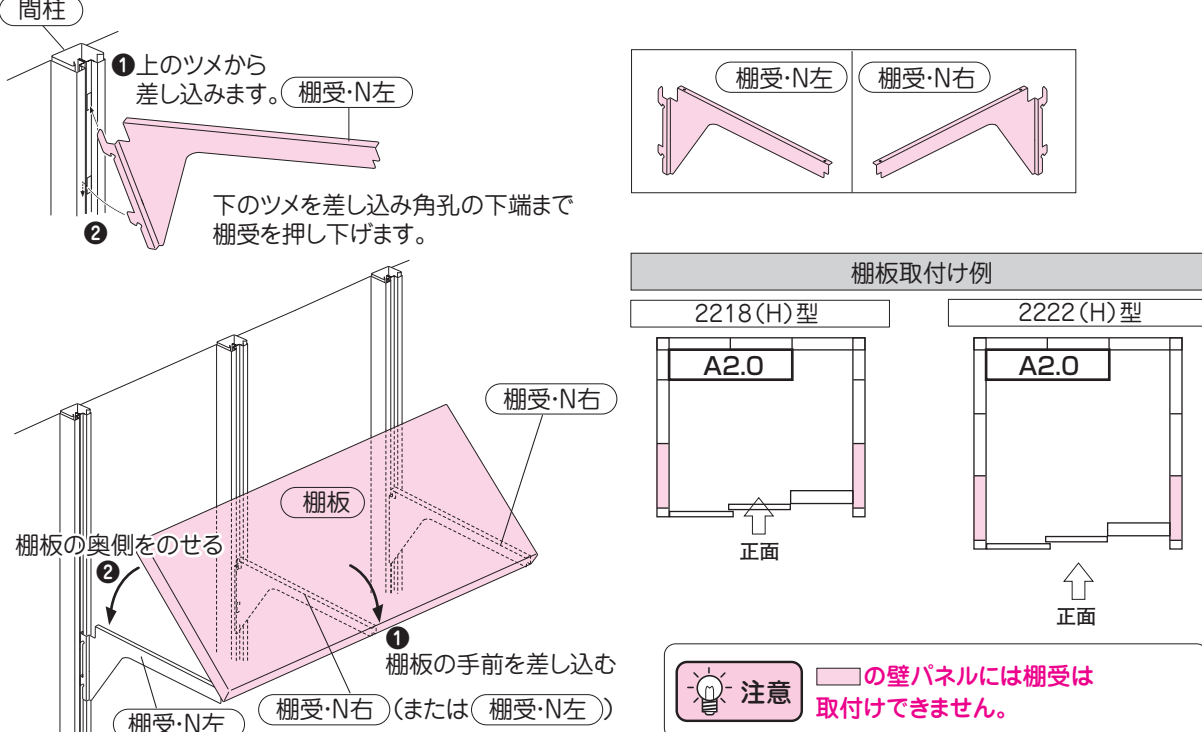
20 扉の建付け調整

- ① 扉を閉めて柱と扉との隙間を確認します。隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、戸車を固定しているボルト(調整ボルト)をゆるめて調整します。



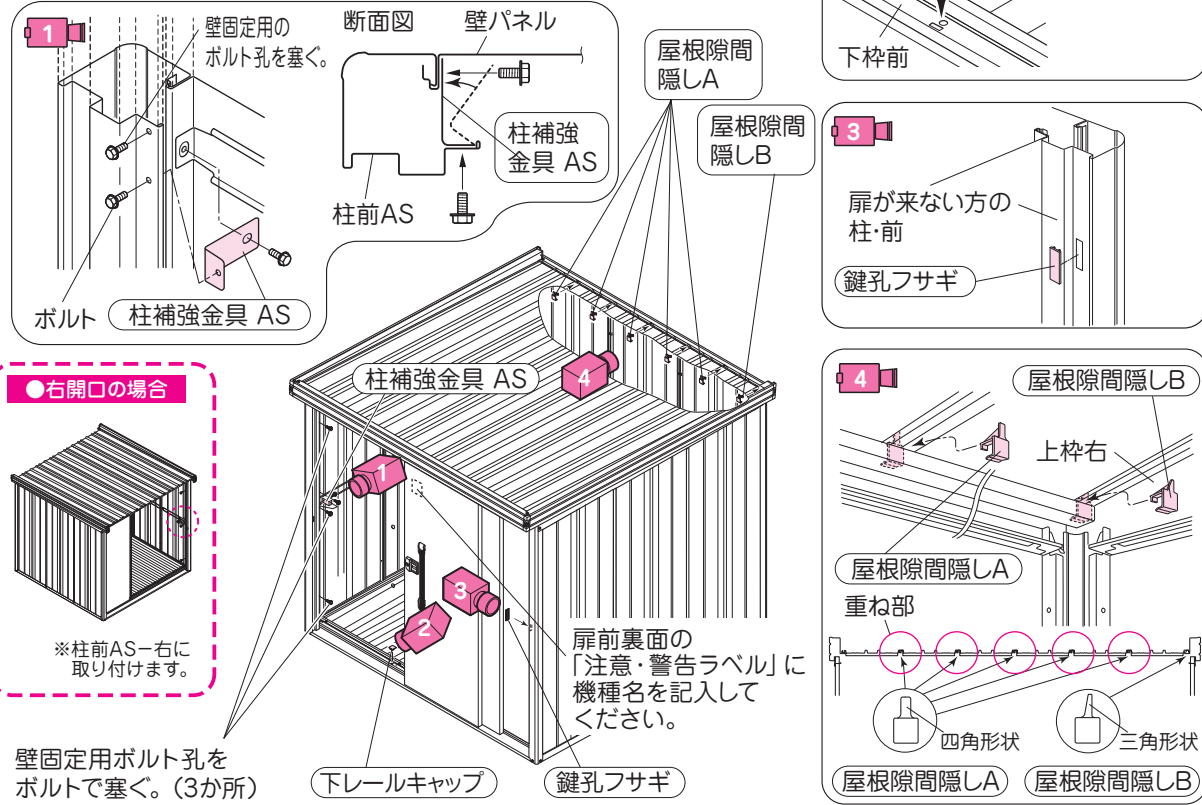
21 棚板の取付け

- ① (棚受)を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
- ② (棚板)を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A2.0が2枚付いています。)



22 その他部品の取付け

- ① 柱補強金具AS を柱前AS-左(右側開口の場合は柱前AS-右)にボルト止めします。
- ② 壁固定用ボルト孔はボルトで塞ぎます。
- ③ 下レールキャップ を下枠前に取付けます。
- ④ 鍵孔フサギ を袖壁側の柱前に取付けます。
- ⑤ 屋根隙間隔しA を上枠後の屋根の重ね部に、(屋根隙間隔しB)を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。
- ⑥ 扉裏面の注意・警告ラベルに機種名を記入します。



- 錠操作方法について 取扱説明書「錠操作方法について」を必ずご参照ください。

